

## 本日のプログラム

### <会長エレクト報告>

白井会長エレクト

先般3月7日に次年度の会長エレクト研修セミナーに行きまして。メモワールソシア21で13時点鐘で行われました。亀ヶ谷ガバナーのご挨拶をいただいた後、次年度のテーマ「夢をかたちに」が発表されました。これは、2008-09年度国際ロータリー会長の季東建さんが掲げられたもので、私は世界中のロータリアンの皆さんに地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていただきたいです、というのが主なる内容です。強調事項としては、水、識字率向上、保護および飢餓がキーワードで、具体的に5歳以下の子供たちの死亡率の低下、子供の飢餓問題への取組み、保健医療施設の整備、衛生設備の改善、安全な飲料水を提供（水の汚染防止）を掲げています。またポリオ撲滅問題にも重点をおいており、現在世界中でポリオ撲滅の進捗状況は99%ですが、残りの1%がインドを中心に残っているの認識を新たに活動を進めていきたいところです。

ロータリーのクラブ奉仕の概要説明をいたします。基本的にはクラブ奉仕の中心は職業奉仕であり、その中に国際奉仕、社会奉仕があり、その上にロータリー財団があります。樹に喩えるならば、「根」はクラブ奉仕、「幹」は職業奉仕、「枝と葉」は社会奉仕、国際奉仕、「花」はロータリー財団となります。この四大奉仕部門はクラブ活動の哲学的、実際的な基準であり、クラブ奉仕は、機能を充実させるためにクラブ内で会員がとるべき行動に関わるものである、などと定められています。

ロータリーの会員増強についても話がありました。どのクラブにおいても会員増強が課題になっているようです。ブロックに分かれて意見交換が行われました。当クラブにおいては、会員増強と30周年記念式典をひかえ、イベントがあると会員同士の絆が深まると申し上げました。中には、例会がつまらないというクラブの話や退会者が増えているという話もあり、それは新しい方に対する導きがないように感じました。加入する際に十分な説明が行き届い

ておらず改善の余地があります。

各委員会報告・寄付の件ですが、年間を通してロータリー財団は120ドル、米山奨学委員会は特別寄付と普通寄付がありますが、特別寄付に関しては2万円のところ出来れば2万5,000円に上げていただきたいです。

そして会長としての研修目的ですが、クラブを計画性をもって行う、出席を促し出席率を上げる、皆様との話の場を持ち明るい運営をする、敷居が高いのではなく入りやすい環境を作っていきたいと思われました。次年度に入りましたら、各委員長と話をしながら、皆様一人一人のご協力もいただきたいので、よろしく願いいたします。

